

吹連いばらき

発行所 茨城県取手市山王 1000
 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校内
 一般社団法人 茨城県吹奏楽連盟
 電話 0297-63-5120
<http://www.iba-sui.jp>
 発行人 代表 川名孝夫
 印刷所 山三印刷株式会社



写真提供：(株)フォトライフ

「第21回東日本学校吹奏楽大会」

札幌コンサートホールKitara
(水戸市立第一中学校)

理事長 川名 孝夫

この2年を生かして

令和3年度は前年に続き、年度当初より新型コロナウイルスの感染とその対応に追われた1年となりました。

振り返れば、5月、6月の事業は中止となり、地区大会は地区の状況により、無観客や入場制限など様々な対策を講じ、8月の県大会は団体ごとの観客入れ替えで開催いたしました。いずれもステージ演奏にこだわり、検討を重ねて実施できたことは、各出演者にとってかけがえのない演奏になったことと思います。部活動の制限や働き方改革による制約があるなかでの演奏に、たいへん心を打たれました。

一方マーチングコンテストは日々の感染拡大の勢いが止まらず部活動停止措置が出され、大会中止を余儀なくされたことは残念でなりません。また9月の東関東吹奏楽コンクール時は感染のピークを迎え、危機的状況の中開催が危ぶまれましたが、無観客、参加者全員PCR検査が条件で、ステージ演奏による大会を開催することができました。

厳しい条件下での大会に出場された各団体の熱意と感謝に満ちた演奏には、たいへん心を打たれました。その結果、水戸市立第一中学校は東

日本大会出場を、常総学院高等学校は全日本吹奏楽コンクール出場を決めました。12月のアンサンブルコンテスト県大会では、対策を講じたうえ観客の入場制限を設けず演奏を審査する形で実施し、次の東関東大会へ繋げることができました。

連盟は各事業を実施するにあたり、新型コロナウイルスというコントロールできない相手にどうなるかという不安を抱えながらも、検討に検討を重ね開催いたしました。

吹奏楽コンクールもアンサンブルコンテストも一人でやるものではありません。これらを運営することは吹奏楽連盟としても第一の使命であると考えています。

探りながらのこの2年間でオンライン配信の流れが加速し、音源審査という新たな動きも生まれました。今後も新型コロナウイルスのような感染症に限らず天災、気候変動、人口減少、そして教育現場を含め様々な危機に直面することと思います。これから皆様と共に知恵を絞りながら時代とともに歩んでいかなければなりません。会員の皆様のご協力を切にお願いいたします。

大会に参加して

大舞台に立てた喜び

水戸市立第一中学校

山崎 真純

「東日本大会出場」これは、先輩たちから引き継いできた私たちの目標でした。東日本学校吹奏楽大会への出場が決定したときは驚喜しました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、コンクールが中止となりました。そのため、中学校のコンクールは、ほとんどの部員が今年初めての出場でした。さらに、練習時間に制限があり、どうしても少ない時間で効率よく練習を進められるのかわかりませんでした。しかし、自分たちで考えながら、曲中のアーティキュレーションを基礎練習に取り入れ、内声の和音やユニゾンのメロディーを合わせたりして、パート練習やセクション練習を繰り返しました。限られた時間でいかに有益な練習をするかが私たちの課題でしたが、常に「反復と継続」を心がけ、一回一回の練習を大切にしてきました。また、曲

に込められている物語や場面ごとのイメージを考えて、部員全員で共有しました。それにより、場面が移り変わるごとに違う曲の表情を表現することができました。

世界的に有名な「札幌コンサートホールKitara」で行われた東日本学校吹奏楽大会。このような素晴らしい会場で演奏できたことは、とても貴重な経験となりました。東日本大会でしか経験できない緊張感や達成感を味わうことができました。そして、結果だけでなく、それ以上に得たものが多かったと実感しました。

いつも私たちを支え、応援してくださった方々に感謝と喜びの気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございます。

夢の舞台

常総学院高等学校

田所 千央

私たちは、2021年10月24日に名古屋国際会議場にて行われた全日本吹奏楽コン

クールで銀賞を頂きました。憧れの舞台に立つまでには、多くの困難や涙、そして目標への熱い気持ちがありました。

今年度の活動は、いつ練習が止まるかわからないという不安と目標への熱い気持ちが入り混じり、複雑な感情で練習を行っていました。ですが、厳しい状況だからこそ練習に工夫を取り入れ、精一杯取り組んできました。どんなに高い壁でも同じ目標を持つ仲間がいれば乗り越えていけることを学びました。

本番当日、常総学院に入學してから憧れていた名古屋国際会議場に圧倒されました。しかし、本番のステージでは、私たちのよさである「明るさ」と常に自分の心にもち続けている「いつも通り」という言葉を最大限に発揮することができたと感じています。先輩方から受け継いだ伝統を後輩によい形で繋ぐことができ、嬉しく思います。

今年度の活動を支援し、温かく見守ってくださった保護者の方々や川名孝夫先生を始めとする茨城県吹奏楽連盟の先生方に改めて感謝申し上げます。

県大会がつないだ全日本

水戸市立石川小学校

山田 淑子

石川小学校のマーチング部の顧問となり2年目、「今年は大大会が開催されるのか？」私たち顧問や学校職員、子供たちも保護者も大会開催の行方を気にかける日々を過ごしていました。

そんな中で、今年度県大会他各種大会を行う方向で進むとの連絡が入り、子供たちと喜びました。それと同時に、大会に向けて感染予防をしながらどう練習を進めていくかが課題となりました。

まず、6年生中心に今年の目標を決めました。「聴く人に曲の世界が伝わる石川サウンドをつくる」そして、目指すは全国大会出場です。最初の大会である県大会に向けて練習する中、大会まであと数日というところでの大会延期、そして中止。東関東大会直前になんとか練習を再開できたものの、練習時間の制限や感染予防のため外部講師の先生の指導も受けられず、顧問と子供たちとで、「石川サウンドを届けたい。」その一心で練習に取り組みしました。

昨年度大会がなかったこともあり、部員の8割が大会未経験者です。東関東バンドフェスティバルでは、演奏後に「緊張したけど、楽しかった。」と話した子供たちの笑顔が印象的です。そして、全日本バンドフェスティバルへの出場。石川小学校の全日本の出場は4年ぶりとなります。多くの支えがあつての全日本出場です。東関東大会で力を発揮できたのは、県大会という目標に向けてがんばってきた日々があつたからです。最後まで開催に向けて力を尽くしてくださった、連盟の先生方に感謝いたします。



一年を振り返って

憧れの教師になつて

鹿嶋市立高松中学校

皆川 愛翔

昨年度4月より鹿嶋市に配属となり、現在、鹿嶋市立高松中学校で吹奏楽部の顧問としております。憧れであった教師となり、音楽を通して生徒と関わるができることに喜びを感じています。毎日が新鮮で、新しいことばかりの日々についていくことが一杯の1年でした。生徒との関わり方で悩むこともありましたが、先輩の先生方に支えられながら、頑張ることができました。

本校の吹奏楽部は3年生4人、2年生1人、1年生2人の7人で活動しています。今年度は、吹奏楽コンクールや鹿嶋市音楽会、学校行事、アンサンブルコンテスト等で演奏しました。1学期は前顧問の先生や大学時代の友人に指導していただき、生徒は大きく成長することができました。私も大変勉強になり、吹奏楽の難しさやおもしろさを強く感じました。お陰をもち

まして、吹奏楽コンクールでは地区代表として県大会へ進むことができました。

2学期はオンライン授業から始まり、コロナ禍で練習時間も少なく、生徒も多少しい気持ちがあったに違いありません。そのような中ですが、感染対策を十分に行ったうえで、人前で演奏できる機会をいただけたことで、生徒は目標をもち練習に励むことができました。

音楽は気持ちや思いがすべて音に現れます。技術的な指導はもちろんですが、音楽で表現する、伝える、気持ちを一つにするために、どのように指導していくのかを今後はさらに考えて、実践していきたいと思います。そして、生徒との信頼関係を築き、思いを共有することができるよう、コミュニケーションをいっそう大切にしていきたいです。まだまだ未熟ではありますが、指導者として成長することができるよう、日々精進します。最後になりますが、日々ご支援、ご協力をいただいているすべての方に、感謝申し上げます。

私たちの挑戦

聖徳ウインド・アンサンブル

山崎 亜希子

私たち、聖徳ウインド・アンサンブルは聖徳中学・高校で学んだメンバーを中心に活動しております。

新型コロナウイルスの影響を受け、なかなか活動の難しい1年となりましたが、吹奏楽コンクールが開催されるということでひとつ目標ができました。

令和2年度、高校3年生で最後のコンクール出場が叶わなかったメンバーも新しく迎え、今まで当たり前に思っていた夏のコンクールが当たり前でないことに気付かされました。

練習も今までとは違い、密を避けるため、普段よりも間隔に配慮したりなど、慣れない感覚での演奏に戸惑うこともありましたが、この状況下においてもコンクールを開催していただけることに感謝しながら練習に励み、東関東大会に出場させていただけることになりました。しかし困難は続き、東関東

ます。

大会に向けての練習においても会場がコロナウィルス蔓延防止のため、閉鎖されたりと不安なことが続きましたが、せっかくいただいたチャンスが無駄にしたいくないという気持ちで全体練習ができませんでした。結果は銀賞でしたが、改めて合奏の楽しさを再確認することができました。

アンサンブルコンテストでは、2グループが東関東大会に進ませただけになりました。お互いに刺激を受けつつ活動してきました。

この状況の中、色々な工夫をし運営をしてくださっている吹奏楽連盟の皆様、当日会場でお手伝いいただき先生や生徒の皆様、いつもありがとうございます。

私たちも演奏でお返しさせていただきたいと思っております。

音楽を創る喜び

県立水海道第一高等学校

吉原 勇人

3月、私は定年を迎えました。38年間の教員生活、その間吹奏楽を通して、ほんとう

に数多くの思い出ができました。

大学まで声楽畑で育った私は（大学オケではビオラを担当していました）、吹奏楽に全くといっていいほど興味・関心がありませんでした。初任校で6名の吹奏楽部員に温かく迎えられ、自分のエレクトーンの演奏と彼らとのアンサンブルが私の原点です。

2校目の伊奈高校は、新設校でももちろん楽器も無く、正にゼロからのスタートとなりました。吹奏楽大好きな生徒がたくさんおり、彼らと日々切磋琢磨しながら自分自身も徐々に吹奏楽にのめり込んで行った時期でした。

3校目の水海道第二高校。この頃になると、全国的に吹奏楽活動が盛んになり、オリジナル曲や編曲物が数多く出版されるようになりました。

大好きな喜歌劇「メリー・ウィドウ」が、鈴木英史氏によって編曲され、早速コンクールで演奏し、県代表に選ばれたのも良き思い出です。たぶん水海道第二高校が茨城初演だったと思います。自分自身も、この頃から色々な演奏会に足を運んだり、ヤマハのバンドクリニックに参加したりと、吹奏楽の魅力にはまっ

いきました。

4校目である母校の水海道第一高校で教鞭を取れることはとても幸せでした。3年生は、6月の文化祭で引退となるため、3月に行われる定期演奏会が部員たちの集大成であり、最も熱の入る行事です。そして、夏のコンクール。新体制で臨まなければなりません。ここ数年部員も増え、A部門への参加となり、わずか1か月で課題曲と自由曲を仕上げるのはとても大変ですが、生徒と共に音楽を創ることができるとは、この上ない喜びとなりました。

最後になりますが、茨城県吹奏楽連盟には大変にお世話になりました。心より感謝を申し上げますとともに、県吹連の益々のご発展を祈念いたします。長い間ありがとうございました。

6分39秒

県立日立第一高等学校

前島 誠

私はコンクールで指揮をする時に必ずストップウォッチを携帯しています。その表示が「6分39秒」で止まっています。昨年9月に宇都宮の

ステージで止めた時のままです。短い時間に全てをかけ、いろんな思いを凝縮させて力を出し切ったあの子どもたちの、ひと夏の挑戦の証のように思えて今も消せずにいます。

創部以来おそろしく初めて挑んだB部門。様々な重圧の中で地区大会を突破し、県大会前には合宿を敢行しました。

ここでのあの子どもたちの熱量が凄かった。東関東を目標に掲げつつ、どこか本気になれない部員もいましたが、仲間の熱量に圧倒され、やっと全員本気になった気がします。あの子たちの爆発力なしに東関東出場は成し得なかったと、今も思っています。

あの子たち、この春の卒業生たちは、2年生の時に定演もコンクールも経験していません。さらにコロナという未曾有の事態にも見舞われ、普通なら心が折れてもおかしくない状況でも、できないことを嘆くのではなく「今できることに全力を尽くす」気持ちに胸に、活動してきました。

5月には2年ぶりの定期演奏会を開催しましたが、客席の半分しか入場できないことを心配する私に「だったら、2回やれば定員分のお客様に聞いていただけますよね？」

と言いつち、本当に2回やっちゃうような子どもたちでした。

コロナさえなければ、あの子たちにもっと思い切り部活をやらせてあげられたのに：と悔やみもしましたが、あの子たちだったから、この事態さえ楽しんで乗り越えられたのだと、今は思っています。

私がこの先何年吹奏楽を続けられるか分かりませんが、多分ずっと忘れられない最高の1年間でした。そんな経験をさせてくれたあの子たちには感謝しかありません。いつも私の願う以上の結果を出してきたあの子たち、今後それぞれの場所でも輝いてくれると信じています。

今年の活動から学んだこと

常磐大学

清武 夏音

私たちが昨年一番力を入れて取り組んだことは「吹奏楽コンクール」でした。新型コロナウイルス感染症の流行から、私たちを含め、どの団体もやりたいこと、やりたかったことが制限される1年だったと思います。徹底した感染対策をとっても「吹奏楽は息を使う部活だから活動は難しい。」と言われることも多く、本来の活動はできませんでした。本学ではこの1年は対面授業でしたが、夕方はオンライン授業を自宅で視聴するため、従来の平日夕方からの練習時間を確保するのが難しい状況でした。また、休日の練習でも、昼食をとらないような日程、長時間の練習禁止など制限がありました。しかし、それでも諦めずに練習時間を無駄にしないよう、実際に楽器に触る時間以外を充実させ、少人数を生かして連絡を密にとつていき、指揮者からの細かな指示をデータにして共有するなど、時間・場所が無いなりに工夫をしてきました。その甲斐もあって、茨城県大会では金賞と、初めての朝日賞をいただき、東関東大会も無事全員で出場し、銀賞を受賞することができました。

コンクール以外の活動では、本来であればいつも演奏をさせてくださる依頼演奏や、入学式や新1年生との交流会など、多くのことができずに終わってしまい、悔しい思いもありました。しかし、このような状況だったからこそ、たくさん学ぶことができました。1年だったとも思います。

活動に困っている私たちに練習場所を貸してくださったり、コンクールを開催すると判断し、準備をしてくださった皆様には、普段あまり実感することがなかったサポートや判断に対して感謝する気持ちを持つことができました。そして私たちの活動は、たくさんの方に支えられ成り立っていることを学びました。

今年の悔しい気持ちや感謝する気持ちを忘れずに、活動を止めることなく、これからも活気ある活動、常磐らしい演奏ができるように練習に励んでいきたいと思っています。



各事業部の活動

コンクール事業部

熊坂 義則

新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年度のコンクール事業が中止となり、その年の児童生徒学生の皆さんとりわけ卒業年次の皆さんには悲しく辛い思いをさせてしまったことを、心から残念に思います。その思いから、令和3年度は絶対にコンクールを開催するという強い決意を胸に、事業部会や理事会で協議を重ねました。消毒や換気等の感染症対策を徹底しながら、団体毎に観客を入れ替えること、表彰式をライブ配信すること等、様々なアイデアを取り入れながら、開催にいたりしました。コロナ禍の中、出場することができなかった団体もありましたが、出場した団体の演奏は2年分の思いがこもった素晴らしいものでした。少子化に伴う吹奏楽人口の減少や部活動の地域移行等、今後の吹奏楽活動には様々な課題があります。皆様の意見を取り入れながらよりよい運営を目指していきますので、今後ともご協力をお願いします。

アンサンブルコンテスト事業部

山田 賢哉

県大会の入場口で「チケットは買えますか。」「演奏は何グループ聞けますか。」という来場者の声を聞きました。気がつく、昨年度から今年度の地区大会まで「例年通り」ではなく、「無観客」「関係団体のみ入場可」「ブロックのみ入場可」「音源審査」などの「例年通りではない開催」が当たり前となっていました。県大会では、丸2年ぶりに一般のお客様を迎えました。コロナ禍での開催に不安もありましたが、参加グループの熱のこもった演奏と、その前後に響いた温かく大きな拍手から、確実に「例年」が戻ってきていることを実感しました。そこには、出演者、各団体関係者、また、係員、補助員として大会運営に携わっていただいた方々など、多くの皆様のご理解ご協力があつてこそだと思えます。

「客席には多くの来場者、ステージでは素晴らしい演奏」この当たり前が戻ることを信じ、今後の運営に努めてまいります。

マーチング事業部

松崎 佳介

令和3年度も新型コロナウイルスに振り回された一年となつてしまいました。

講習会は、その形態から当初より開催することは困難と判断し、未開催としておりましたが、吹奏楽コンクールが何とか開催でき、さあ今年こそは！と準備をしていたマーチングフェスティバルの数日前、「茨城県緊急事態宣言」が発出され、部活動が禁止されました。大会についても、中止または延期の要請がなされたため、収束を期待して9月23日に延期することを決定いたしました。しかし、その後も感染は拡大し、9月から学校は休校。緊急事態宣言も解除されず、泣く泣く中止とせざるを得ませんでした。

東関東大会は開催されましたので、規定に則り、水戸市立石川小学校、水戸市立浜田小学校、大成女子高等学校、常磐大学高等学校を東関東大会に推薦いたしました。その結果、水戸市立石川小学校が全国大会に推薦されました。各団体ともに他県より厳しく制限された環境で工夫を凝らして練習され、素晴らしい演奏演技を披露していただきました。それぞれの団体に對して、衷心より敬意と感謝の意を表させていただきます。

財務部

内藤 良

令和5年問題や感染症等、部活動を取り巻く社会情勢は厳しいものがありますが、それらにしっかりと対応し、吹奏楽、マーチングの発展に少しでも貢献できるよう努力して参る所存ですので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年度の財務部活動をご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度以降、コンクールをはじめとする事業が以前のようには実施できず、収入が大幅に減少していることへの対応が喫緊の課題となっております。そのため、昨年度には積立金の統合を行い、さらに今年度は経費の一層の削減とともに、年会費や参加費などの改定を行わせていただきました。皆様のご協力の下、積立金を活用しながら非常時の運営を継続できる目処がつつある状況です。

また、令和3年度より一般社団法人となり、県の財務に加えて、各地区の会計も一緒に運営することになりました。それぞれの状況に合った形で地区における活動を継続しながら、5地区を含めた県全体で健全な財務面の運営が行

審査部

加藤 勝弘

えるよう整備を進めます。

皆様には、県ならびに各地区の財務運営に対して引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

審査部の仕事は、コンクール・アンサンブルコンテスト終了直後に、審査結果の検討と同時に、次年度の審査員招聘の検討、交渉を行っております。この「吹連いばらき」が会員の皆様のお手元に届く4月には、参加要項・ホームページでコンクールとアンサンブルコンテストの審査員名を公表できるように仕事を進めてまいりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、茨城県吹奏楽コンクールを行うことができませんでした。そのため、令和3年度の審査員は、令和2年度にお願いする予定でした審査員を中心にお願いたしました。

現在、コンクール・アンサンブルコンテストの審査は7名で行い、上下カットをすることで、より評価の公平性を確保しています。大会の性格上、審査は最も信頼されなければならないものです。本県では、今後も透明性・信用性を第一に考えた運営に努めてまいります。

各地区の活動

・県東地区・

高橋 哲也

令和2年から始まったコロナ禍ですが、3年も引き続き感染症対策をとりながらできる限りのことをしてきました。

令和3年度には、前年度に開催できなかった吹奏楽コンクールを無事に開催できたことがとてもうれしく思っています。人数を制限する中で、演奏する団体関係者のみの鑑賞となりましたが、生徒たちの日頃の練習の成果を審査員だけではなく、普段から応援していただいている保護者のみなさんに聴いていただくことができました。部活動の思い出の1ページが無くならず、すんでよかったと思います。

吹奏楽コンクール前に行っている県東地区独自の取り組みであるブレコン2021も、無観客ながら開催することができました。前年度にコンクールを経験していない生徒が多い中、この行事は本番のイメージをもつことに役だったと思います。

今まで2月に行ってきた県東地区吹奏楽祭と、6月に行ってきた初心者講習会は実施することができませんでした。その中でも、初心者講習会については、各団体も必要性を強く感じています。早くコロナが収束し、開催できる状況になることを願っています。

・県南地区・

郷 恵子

令和3年度も新型コロナウイルス感染症を優先した運営となりましたが、みなさんのご理解ご協力により、コンクールとアンサンブルコンテストを無事に終了することができました。ありがとうございました。

具体的な取り組みとして、コンクールでは①無観客で開催。ライブ配信を取り入れました。②運営は補助員を要請せず、昼食時の感染を避けるため、係員は半日ずつ担当していただきました。③打楽器搬入時の密を避けるため、大型打楽器を共有しました。

アンサンブルコンテストでは①進行表を学校ごとにまとめました。各校観客は50人以内とし、客席を学校ごとに入れ替えました。②運営は補助員を要請せず、係員は参加校の先生方に依頼しました。昼食は黙食を徹底し、一日ごとに担当していただきました。

また、指導者講習会は引き続き鈴木英史先生による「指揮法」を実施することができました。先生方の個性あふれる指揮の姿から、日々熱心に指導されていることがよく伝わってきました。講習会は、指導の技術を学ぶだけでなく、指導者同士の関係性を良好にする重要な機会だと改めて認識しました。今後は、県南地区として長年続

・県西地区・

稲毛田 一輝

けてきたミュージックフェスティバルやプラスエキスポを復活させ、小学生から大人まで一緒に演奏ができる機会を取り戻していきたいと考えています。

令和2年度はコロナ禍にみまわれ、様々な事業が中止され、特に吹奏楽コンクールの中止は、出場する団体や奏者同士で切磋琢磨をし合える場が失われてしまい、大変心を痛めました。令和3年度はそのような辛い思いを吹奏楽に関わる方々にさせないよう、年度初めから検討を重ね開催の準備にあたりました。多くの制約を受けながらのコンクール・アンサンブルコンテストの実施と感染防止対策の両立は大きな課題でしたが、大会終了後に参加者から感染者は発生せず、無事に開催することができました。加盟団体の皆様にたくさんのご協力やお知恵をいただきました。誠に感謝申し上げます。

しかし、初心者講習会や指導者講習会等の普及推進事業は残念ながら中止となりました。特に、毎年中学1年生を対象に基本的奏法から楽器のお手入れなどを、楽器別の講師を招いて行っている初心者講習会は2年連続の中止となつてしまい、地区吹奏楽の技術力向上に対して多大な影響を与えました。来年度以降は、講習会自体の

・県北地区・

門三野 洋平

在り方や、実施方法を模索して講習会を行うことができるかについて検討を重ねていきたいと思っております。今後も、加盟団体の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

引き続きコロナ禍での事業運営でしたが、加盟団体や指導者の皆様のご協力により、事業を終えることができましたことに感謝申し上げます。

令和3年度のコンクールは、感染症対策に十分配慮し、団体ごと観客を入れ替えるなどの措置により2年ぶりに開催することができました。また、アンサンブルコンテストは令和2年度同様団体数を2グループとし、1日開催としました。どちらも例年通りとはいきませんが、参加した生徒にとつては、自分たちの努力した成果を聴いていただき、大きな拍手をいただけたことは、かけがえない経験になったと思います。今まで当たり前のことだと思っていたが、演奏できることの喜びを実感できる貴重な機会だと改めて感じました。

令和4年度は、いわゆる例年に戻すものの、今年度取り入れ継続していくものを精査し、よりよい運営になるよう検討してまいります。また、実施できなかった、初心者

・中央地区・

塩澤 恭平

コロナの終わりは見えませんが、今後も吹奏楽の発展のためにできることを考え、尽力してまいります。

おかげさまで、令和3年度の吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストは、新型コロナウイルス感染症対策をしながら有観客で開催することができました。その際には、会員の皆様には感染症対策をはじめたくさんのご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

しかし、今でも子どもたちにとって多くの演奏機会が失われたままになっているのが現実です。子どもたちが音楽を披露できる場を、私たち大人ができる限りつくっていくことが大切だと思います。

令和4年度におきましても、茨城県における吹奏楽普及発展のために、地区を挙げて取り組んでまいります。会員の皆様には、ご不便をかけることがあるかもしれませんが、これからも協力よろしくお願いいたします。

大会の記録

※太文字・下線は代表団体

吹奏楽コンクール

▶第61回茨城県吹奏楽コンクール

地区大会 (県東) 7月25日(日) 神栖市文化センター
(県西) 7月24日(土)、25日(日) 結城市民文化センター
(中央) 7月24日(土)、25日(日) ひたちなか市文化会館
県大会 8月7日(土)～11日(水) ザ・ヒロサワ・シティ会館

(県南) 7月23日(金)～25日(日) 大昭ホール龍ヶ崎
(県北) 7月17日(土)、18日(日) 常陸太田市民交流センター

	金 賞	銀 賞	銅 賞
《小学生の部》 朝日賞 三の丸	新莊、酒門、外野、笠原、白方、村松、三の丸、千波、佐野	大岩田、水海道、阿見、常磐、高野	
《中学校の部A部門》 朝日賞 多賀	土浦第三、多賀、千波、田彦、勝田三、佐野、東海、勝田一、大久保	取手一、水海道西、水戸四、結城、牛久南、伊奈、明野、鹿島、城ノ内	春日学園、谷和原、竹束、美浦、波崎四、石岡、けやき台
《中学校の部B部門》 朝日賞 水戸一	千代川、泉丘、水戸一、古河中等、下館南、金砂郷、水戸二、古河一、境一、大島、茨城、御所ヶ丘、磯原	阿見、高萩、三和北、東海南、八千代東、美野里、日立一高附属、並木中等、小川北、八千代一、高松、常北、戸頭	稲田、神栖四、土浦六、永山、並木、鉦田南、旭、愛宕、伊奈東、取手二
《高等学校の部A部門》 朝日賞 常総学院	茨城、常総学院、大成女子、水戸女子、明秀学園日立、取手聖徳女子	水戸桜ノ牧、霞ヶ浦、日立北、水戸三	水戸一、水海道一、古河三、竹園、江戸川学園取手
《高等学校の部B部門》 朝日賞 土浦日大	土浦二、佐和、境、土浦日大、並木中等、日立一、竜ヶ崎一	日立二、東洋大附牛久、常磐、古河一、取手松陽、伊奈、緑丘、八千代	鉦田一、清真学園、鹿島、茨城キリスト教学園、水海道二
《大学の部A部門》 朝日賞 常磐	筑波、常磐		
《職場・一般の部A部門》 朝日賞 日立市民吹	ひたちなか交響吹、聖徳WE、日立市民吹、常陸太田市民吹、水戸市民吹、取手交響吹	阿見吹	土浦吹、愛♡I WO

▶第27回東関東吹奏楽コンクール

高A 9月4日(土) よこすか芸術劇場
高B 9月11日(土) 宇都宮市文化会館
中B 9月18日(土) ザ・ヒロサワ・シティ会館

中A
小学
大学、職場・一般

9月5日(日) よこすか芸術劇場
9月12日(日) 宇都宮市文化会館
9月22日(日) ザ・ヒロサワ・シティ会館

《小学校の部》	酒門、三の丸、新莊	笠原、白方	外野、村松
《中学校の部A部門》		多賀、田彦	千波、土浦三
《中学校の部B部門》			
《高等学校の部A部門》	水戸一、大島、泉丘、下館南	境一、水戸二	千代川、金砂郷、古河一、古河中等
《高等学校の部B部門》	常総学院	水戸女子	明秀学園日立、茨城、大成女子
《大学の部》	竜ヶ崎一	境、佐和、並木中等	土浦二、土浦日大、日立一
《職場・一般の部》		常磐	筑波
		日立市民吹、聖徳WE、水戸市民吹	常陸太田市民吹、ひたちなか交響吹、取手交響吹

▶第21回東日本学校吹奏楽大会 中B 10月9日(土) 札幌コンサートホールkitara
《中学校部門》

水戸一

▶第69回全日本吹奏楽コンクール 高校A 10月24日(日) 愛知・名古屋国際会議場
《高等学校の部A部門》

常総学院

フェスティバル

▶第56回茨城県マーチングフェスティバル 8月21日(土) 日立市池の川さくらアリーナ 中止

▶第20回東関東小学生バンドフェスティバル・第27回東関東マーチングコンテスト 10月3日(日) 千葉ポートアリーナ

《小学校バンドフェスティバル部》	石川、浜田		
《マーチングバンドの部》			
中学校A部門	大島		
小学生B部門			
中学校B部門		大成女子	常磐
高等学校A部門			

▶第56回茨城県アンサンブルコンテスト

地区大会 (県東) 11月20日(土)、21日(日) 神栖市文化センター
(県南) 11月26日(金)～28日 小美玉市生涯学習センター
(県北) 11月13日(土)、14日(日) 常陸太田市民交流センター
県大会 (高・大) 12月17日(金) 牛久市中央生涯学習センター
(中) 12月18日(土) 牛久市中央生涯学習センター

(県西) 11月20日(土)、21日(日) 結城市民文化センター
(中央) 11月19日(金)～21日(日) 小美玉市生涯学習センター
(小、職・一) 12月19日(日) 牛久市中央生涯学習センター

《小学校部門》 朝日賞 笠原(金八)	笠原(金八)、前渡(木三)、笠原(打五)、三の丸(Sax三)、村松(Sax四)、白方(金七)、三の丸(木三)、白方(打三)、三の丸(金四)、常磐(管三)、酒門(金四)、酒門(金八)、白方(金八)	村松(金八)、佐野(金六)、千波(金七)、新莊(金八)、佐野(木五)、千波(打三)、酒門(金四)、外野(金七)、千波(木八)、村松(打三)、佐野(打四)、水海道(金四)	常磐(管七)、大洗(金六)、前渡(管三)、大洗(金八)、笠原(金五)、常磐(金三)、水海道(金五)
《中学校部門》 朝日賞 並木中等(Sax四)	大島(打四)、古河中等(打七)、大島(金八)、金砂郷(打三)、多賀(管八)、並木中等(Sax四)、下館南(CI四)、水戸一(CI四)、水戸一(打四)、泉丘(木八)、古河一(Sax四)、境一(管五)、千波(木五)、取手聖徳(管四)、並木中等(CI四)、下館南(打五)、笠原(CI三)、水戸一(FI三)、大島(木八)、茨城(打五)	守・愛宕(CI五)、多賀(打三)、藤代南(Sax四)、八千代東(打八)、下館(打四)、水戸四(金八)、古河一(打三)、土浦三(Sax四)、土浦三(木三)、茨城キリスト(木三)、水戸四(打四)、茨城(管八)、並木中等(FI四)、千波(打三)、古河中等(CI五)、茗溪(Sax三)、磯原(木八)、古河中等(Sax四)、御所ヶ丘(木八)、千代川(木三)、笠原(木三)、美浦(FI三)、取手一(木三)、下館南(金八)、取手一(打四)、神栖二(Sax三)	波崎四(金四)、江戸川取手(木八)、阿見(管八)、鹿島(打五)、竜一附属(管七)、鉦田南(金五)、日の出(木三)、日の出(管八)、明野(木八)、旭(木八)、旭(金七)、友部(木三)、鹿島高附属(管七)、十王(管八)、城ノ内(木四)
《高等学校部門》 朝日賞 常総学院(金八)	常総学院(金八)、水戸女子(Tb四)、取手聖徳(木八)、水戸一(CI四)、茨城(打五)、常総学院(木三)、取手聖徳(金八)、土浦二(CI四)、茨城(Sax四)、古河中等(打三)、霞ヶ浦(木三)、佐和(木三)、霞ヶ浦(金四)、並木中等(CI六)、下妻一(FI三)	大成女子(木八)、水海道二(CI五)、明秀日立(FI四)、竜ヶ崎一(金四)、太田一(打三)、霞ヶ浦(打五)、水戸一(打三)、竜ヶ崎一(打四)、茨城(CI八)、佐和(金八)、日立一(CI六)、水海道一(Sax五)、土浦二(FI三)、水戸桜ノ牧(打五)、古河一(Sax四)、明秀日立(金八)、佐和(打六)、清真(Sax四)	鉦田一(木八)、水海道一(FI三)、鉦田一(金八)、東洋大牛久(木六)、取手松陽(木三)、日立二(木三)、日立一(金六)、水海道一(CI四)、古河一(金八)、水戸桜ノ牧(木八)、清真(FI三)、江戸川取手(木八)、下妻一(Sax四)、竜ヶ崎一(Tb三)、水戸一(金七)
《大学部門》 朝日賞 筑波(CI六) 《職場・一般部門》 朝日賞 聖徳WE(木四)	筑波(Sax四)、筑波(CI六) 取手交響(CI四)、聖徳WE(木四)、"Legend Of Dragon"(金四)、ひたちなか交響(CI四)、ひたちなか交響(Hn四)、聖徳WE(管八)、水戸市民(木四)	茨城(Sax四) 取手交響(金四)、取手交響(FI四)、水戸一高OB(FI三)、阿見(金八)	茨城(FI四) ひたちなか交響(TP四)、土浦(木四)、大成WE(木八)、聖徳WE(金四)、大成WE(金八)、茨城パルナッソス(管八)

▶第27回東関東アンサンブルコンテスト 令和4年1月22日(土)、23日(日) 君津市民文化ホール

《小学生部門》		前渡(木三)、笠原(打五)、村松(Sax四)、笠原(金八)	三の丸(Sax三)
《中学校部門》		並木中等(Sax四)、古河中等(打七)、大島(金八)	多賀(管八)、下館南(CI四)、大島(打四)、金砂郷(打三)
《高等学校部門》	常総学院(金八)、常総学院(木三)	水戸一(CI四)、水戸女子(Tb四)、取手聖徳女子(木八)、茨城(打五)	取手聖徳女子(金八)
《大学部門》		筑波大(Sax四)、筑波大(CI六)	
《職場・一般部門》	聖徳WE(木四)	"Legend Of Dragon"(金四)、聖徳WE(管八)、取手交響(CI四)、ひたちなか交響(CI四)	ひたちなか交響(Hn四)

▶第45回全日本アンサンブルコンテスト 令和4年3月19日(土) やまぎん県民ホール

アンサンブルコンテスト

令和3年度県吹連後援

演奏会の記録

月	団 体 名	演 奏 会 名
4月	県立土浦第二高等学校	第21回定期演奏会
	県立並木中等教育学校	第23回定期演奏会
	県立緑岡高等学校	第13回定期演奏会
5月	県立水戸第三高等学校	第25回定期演奏会
	県立日立第一高等学校・附属中学校	第47回定期演奏会
	茨城高等学校・大成女子高等学校	第6回ジョイントコンサート
	県立桜ノ牧高等学校	第27回定期演奏会
	ひたちなか市吹奏楽団	スプリングコンサート2021
	日立市民吹奏楽団	第37回定期演奏会
	取手交響吹奏楽団	第19回定期演奏会
	明秀学園日立高等学校	第9回定期演奏会(日立公演)
6月	大成女子高等学校	第53回定期演奏会
	筑波大学吹奏楽団	第85回定期演奏会
	明秀学園日立高等学校	第9回定期演奏会(ひたちなか公演)
	県立境高等学校	第22回定期演奏会
	県立古河第三高等学校	第43回定期演奏会
	県立太田第一高等学校	第26回定期演奏会
	ひたちなか交響吹奏楽団	第24回定期演奏会
	県立伊奈高等学校	第27回定期演奏会
7月	茨城パルナッソス ウインドオーケストラ	第11回定期演奏会
7月	常陸太田市内合同バンド	第25回常陸太田市内中学校吹奏楽部合同演奏会
11月	県立伊奈高等学校	クリスマス・コンサート2021
	筑波研究学園都市吹奏楽団	第35回定期演奏会
12月	水戸シンフォニックアンサンブル	第35回定期演奏会
	筑波大学吹奏楽団	第86回定期演奏会
	ひたちなか市民吹奏楽団	第37回定期演奏会
	常陸太田市民吹奏楽団	第38回定期演奏会
	茨城中学校・高等学校	第62回定期演奏会
	日立市民吹奏楽団	ポップスコンサート2021
	水戸内原吹奏楽団	第10回定期演奏会
	茨城大学吹奏楽団	'21冬の演奏会
1月	県立土浦湖北高等学校	第2回定期演奏会
	リベルタウィンズ	第11回定期演奏会
	結城吹奏楽団	25周年記念第22回定期演奏会
	水戸市民吹奏楽団	第44回定期演奏会
2月	古河シティウインドオーケストラ	第12回ウインターファミリーコンサート
	県立多賀高等学校	第5回定期演奏会
	常磐大学吹奏楽団	第37回定期演奏会
3月	筑波研究学園都市吹奏楽団	午後の演奏会 24 ～ 24 時間を彩る音楽～
	愛♡I Wind Orchestra	第11回定期演奏会
	茨城大学	第63回定期演奏会
	県立土浦第二高等学校	第23回定期演奏会
	県立那珂高等学校	第27回定期演奏会
	古河市立三和北中学校	第19回定期演奏会
	県立藤代高等学校	第39回定期演奏会
	大成女子高等学校	第8回フレッシュバンドコンテスト
	県立水海道第二高等学校	第22回定期演奏会
	県立古河第一高等学校	第9回定期演奏会
	聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校	第33回定期演奏会
	常磐大学高等学校	第30回定期演奏会
	県立水戸第一高等学校	第46回定期演奏会
	日立市立多賀中学校	第15回定期演奏会
	ひたちなか市立勝田第一中学校	第37回定期演奏会
	県立竹園高等学校	第37回定期演奏会

編集後記

広報委員長 古谷 譲

茨城県吹奏楽連盟の活動もコロナ禍の中3年目となります。

令和3年度には茨城県吹奏楽連盟も、新たに一般社団法人としてスタートするとともに、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストの運営面では、感染対策を講じながら、少しでも以前と同様な運営に近づけようと努力してきました。

そのような中、加盟団体においては限られた練習時間の中で感じた『苦悩』と、その中で得た『感動』があったことを、今回寄稿していただいた内容から感じ取ることができました。

皆様には、是非本号の「吹連いばらき」を読んで頂き、このコロナ禍の中頑張った仲間からパワーを感じ取っていただき、今後如何に音楽と向かい合っていくかということを考えるきっかけとなつて頂けたら幸いです。

広報委員会としても、もっと皆様に、多くのことを提供できるように、紙面構成に努めて参ります。

本号の原稿依頼に、こころよくご協力くださいました皆様方に感謝申し上げます。

広報委員

佐々木孝明(県東地区長)
古谷 譲(県南地区長)
古井 忍(県西地区長)
和田 秀彦(県北地区長)
仁平 良治(中央地区長)
和田 瑞枝(事務局職員)